

## 秋田の元気を美郷から 美郷カレッジ

各界の第一線で活躍されている方々を講師に迎え開催している美郷カレッジが9月17日、10月1日、10月8日にそれぞれ開催されました。

9月17日のテーマは「おじぞうさんはいつでも」。美郷町公民館を会場に、宗教学者の山折哲雄氏と絵本作家で美郷大使でもある永田萌氏を講師として実施されました。講義では、山折先生の詩に永田先生が絵を描いたテーマと同名の絵本「おじぞうさんはいつでも」の朗読から始まり、各地に点在する地蔵からみた日本の風土や信仰、心のふるさとについて考えました。

10月1日のテーマは「三咲順子一人語り命と心を繋ぐ」。宿泊交流館ワクスを会場に女優の三咲順子氏を講師として実施されました。ピアノを弾き、語り、歌い、演じる「一人語り」という独自のスタイルをライフワークとして活動しているという三咲先生により2つの心温まる物語が披露されると、参加者からは大きな拍手が送られました。

10月8日のテーマは「女性の活躍～女性が輝けば、社会は輝く～」。宿泊交流館ワクスを会場に日本航空株式会社執行役員で西日本地区支配人の中野星子氏を講師として実施されました。講義では中野先生のこれまでの経歴が語られ、自身の体験を通して、女性が活躍することの大切さと日本社会の将来に与える影響などを学びました。



▲▶ 三咲順子氏  
と 山折哲雄氏  
と 永田萌氏



▲ 中野星子氏

## いつまでもお元気で 美郷町敬老会

今年も、美郷町敬老会が9月17日は美郷町北体育館と美郷町中央体育館、9月18日は美郷町南体育館を会場にそれぞれ開催され、満75歳以上の3,944人が招待されました。各会場では美郷町長寿番付の発表や、今年新たに敬老会に招待された方々が誕生した昭和15年、16年の出来事が紹介されました。

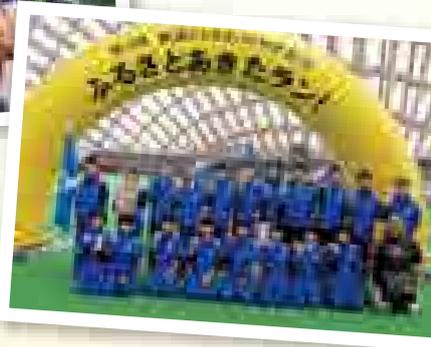
その後アトラクションとして、園児たちのお遊戯や、「劇団桜龍」による舞踊ショーが披露され、来場者の皆さんを楽しませてくれました。



## 力走!美郷町 秋田25市町村対抗駅伝 ふるさとあきたラン!

10月2日、大館市の大館樹海ドームをメイン会場に第3回目となる「秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン!」が開催されました。このイベントは県内各市町村それぞれから選出された、小学生男女、中学生男女、高校生男女、一般男女、壮年の計9区間でタスキをつなぎ競い合う駅伝大会です。25市町村から34チームが参加した今大会では、美郷町は見事「町の部」で2位（総合11位）となりました。

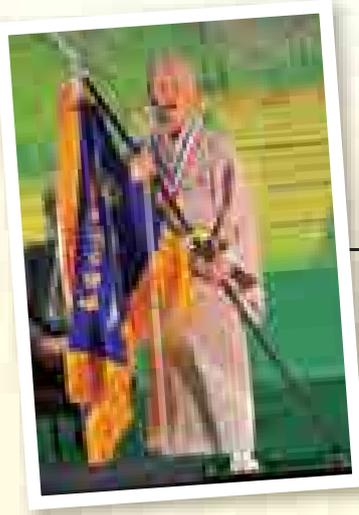
また、同時に開催された「ご当地自慢フェスティバル」では、美郷町ブースにて新商品「美郷まんま饅」が美郷づくし研究会より披露されました。



## 一般の部優勝に美郷町の中村清治さん 第26回民謡「長者の山」全国大会

10月8日、9日の両日、美郷町北体育館で第26回民謡「長者の山」全国大会が開催されました。今年は県内外から、一般の部75名、熟年の部63名、ジュニアの部22名の合計160名が出場し、日ごろ鍛えた自慢の歌声を披露しました。

- 一般の部 優勝 中村清治さん（仙南 谷地中）
- 熟年の部 第5位 高橋金男さん（細筑）





## 宇宙を学ぶ コズミックカレッジ

10月10日、美郷町公民館にて町内の小学生25名が参加し「コズミックカレッジ」が開催され、講師としてJAXA宇宙教育リーダーの俣野綾子氏が来町し、参加した児童たちに宇宙やロケットについて教えてくれました。

その後外に出て、自分たちで作ったペットボトルロケットを飛ばした児童たちは、どこまでも飛んでいくロケットに大きな歓声を上げていました。



## 癒やしの音色 口笛と語りのコンサート2016

10月8日、美郷町公民館を会場に「口笛と語りのコンサート2016～実りの秋に豊かなひとときをあなたに～」が開催されました。

口笛奏者として全国、海外で活動されている柴田晶子さんとピアニストの藤野恵美さんによる素晴らしい演奏や、美郷町のおはなしボランティアの皆さんによる絵本の読み語りとのコラボレーションなど、満席となった会場に癒やしの音色が響き渡りました。



美郷町中学校新人駅伝競走大会にてあいさつをする松田町長

# コラム 風

## 「造形と意匠」

美郷町長 松田知己

先般、ある方の写真展に行ってきました。折に触れて開催される個展では、いつもその方の感受性と感性に感動しますが、「水の抽象・光の具象」と題した今回も、それは素晴らしい作品群でした。

今回、その一つに「花の造形雲の意匠」という書があり、その続きに花と雲の写真が展示されておりました。造形、そして

意匠という言葉がしっくりくる作品でした。その写真を眺め、改めて自然が醸す造形と意匠について思慮するとともに、身近にある造形と意匠を思い浮かべてみましたが、浮かんできたのは「板」でした。

私の自宅は、設計の関係で腰壁材、天井材が北欧の松材です。そしてその板は実に節だらけです。まさに自然の造形の結果ですが、それが連続すると今度は意匠に早変わりします。はじめは節の存在に違和感がありましたが、今では節の醸すデザイン性に満足しています。改めて「節」の大切さを実感するところ

です。他方、広く見渡してみると、やはり「節」が大切な事柄は多く存在しています。物理的なもののみならず、精神的な意味合いの強い「〇周年」という節目

もその一つだろうと思います。個人的見解ですが、私は「周年」を意識して大切に作る組織には、確かな未来があるように思っております。それは節目に際して来し方を振り返り、思慮を巡らせるところに未来の見通しがあると思うからです。ちなみにですが、家庭では結婚記念日を大切にしているご夫婦、きつと良い未来があると思います（何の責任も負いませんが）。

そして美郷町。この11月1日で誕生13年目に入ります。人言えば小学を卒業し、中学に入学です。捉え方によっては大きな節目の一つです。これまでの5年刻みの節目に加え、卒入学の観点で来し方を振り返り、美郷町をみなさんがどう造形してきたのか、また、今後どう意匠を凝らして特色ある町にしたいのか、思慮の機会にしたいものです。そこから生まれいずる想いは、この節目が持つ意味となります。そしてこうした節は、増えるにつけ町づくりへの意匠に繋がっていくものと私は信じております。